

# 施策分析シート（平成21年度）

No1

<b>施策名</b>	環境配慮活動の推進	<b>施策No</b>	07-01	<b>部課名</b>	環境清掃部環境課		
				<b>課長名</b>	松土民雄	<b>内線</b> 481	
<b>関連部課名</b>	管理部経理課、土木部道路課、教育委員会事務局教育施設課						
<b>行政評価</b>	<b>分野</b>	環境先進都市[ ]					
<b>事業体系</b>	<b>政策</b>	地球環境を守るまちの実現[07]					
<b>目的</b>	かけがえのない「ふるさと・荒川区」と地球を守るため、区民・事業者・区がそれぞれの役割に応じて環境負荷を減らす取組みを進めるとともに、三者の協働により環境配慮活動を推進し、「環境都市あらかわ」の実現をめざす。						
<b>指 標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>					<b>指標に関する説明</b>
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (28年度)	
	遮熱性舗装面積(m <sup>2</sup> )	1,298	3,176	1,583	2,000	22,000 (累計)	道路の表面温度が高くなるのを抑える高反射率塗料を使用した舗装の施工実績
	環境学習メニュー参加校	5	9	13	15	全 小中学校	環境学習のメニューに参加する学校 (小学校23校・中学校10校)
	区役所本庁舎の温室効果ガス排出量削減率 (対H19年度比)	—	—	算定中	Δ5%	Δ5% 以上	荒川区役所環境配慮率先行動計画(H20.12策定)では、温室効果ガスの削減目標を対H19年度比5%と定めている。
	エコライフチャレンジファミリー参加世帯数 (累計)	1,638	2,046	2,258	2,500	5,000	各家庭が1週間の生活を点検し、省エネやりサイクルの推進に役立っている。
あらかわエコ協定登録数	75	75	75	80	200	環境負荷を減らす取組みをしている事業者の登録数。	
<b>現状と課題 (指標分析)</b>	<p>環境配慮活動の推進に向け、区では、以下の計画を定めている。</p> <p>環境配慮行動計画（H13.3策定・H20.12改定）：区民・事業者にとって取り組みやすく効果がわかりやすい、身近で具体的な環境保全のための行動を示した計画。</p> <p>環境配慮率先行動計画（H11.3策定・H13.3改定・H20.12改定）：区役所の全ての組織・施設・事業において、区役所が率先して地球環境への負荷を軽減させる取組みを実行するための計画。</p> <p>環境基本計画：平成16年3月に、区が目指す環境像「みんなであらかわ みんなでつなぐ 環境安心のまち あらかわ」の実現を目指して作成。その後、策定から4年が経過し、環境問題のうち地球温暖化対策が喫緊の課題となるなど、現状に合った環境施策を進めていくため、平成20年9月に新たな環境基本計画を策定し、区の環境施策を見直し、整理・体系化した。</p> <p>・近年、地球環境問題が大きくクローズアップされ、環境負荷を減らす様々な取組みが行われている。</p> <p>・さらに、都市部に顕著なヒートアイランド現象への対策も図っていく必要がある。</p> <p>・区は、住民に最も身近な政府として、区民の暮らしに根付いた環境負荷軽減の取組みを進め、地域環境を守り、ひいては地球環境を守り育てることに繋がる施策を進める責務がある。</p> <p>・また、区が率先して環境保全に取り組むことは重要であり、区本庁舎の温室効果ガス排出量は削減目標を達成している。しかしながら、施設の増加等もあり、区の出先機関全体の温室効果ガス排出量は増えている。</p> <p>・そのため、これまでも遮熱性舗装、校庭の芝生化などの様々な環境施策を行ってきたが、総合的な低炭素地域づくりに取り組む必要がある。</p>						
<b>今後の方向性</b>	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>「環境先進都市あらかわ」の実現を目指し、平成19年度に設置した区長を本部長とする「環境先進都市推進本部」を中心に、区の環境政策をさらに総合的に推進する。また、新たに設置したあらかわエコセンターを拠点に、区民・事業者・区が一体となって環境問題に取り組むとともに、これまでの計画に加えて、今後、二酸化酸素削減の数値目標を定めた低炭素地域づくり計画の策定を行う。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	区は住民に最も身近な基礎自治体として、区民の暮らしに根ざした環境負荷軽減の取組みを進め、地域環境と地球環境を守り育てる責務があり、「環境先進都市」を目指す荒川区にとって、本施策の重要性は高い。

# 施策分析シート（平成21年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		19年度	20年度	前年度 設定	今年度 設定	
庁舎等資源再利用推進事業	02-01-08	5,963	5,662	継続	継続	現状の規模で実施する。
環境推進 (環境保全に向けた普及啓発)	05-01-01	3,400	4,034	継続	継続	一人ひとりの日常生活の中から環境問題を考えることで、環境保全意識を高めることが大切である。
環境推進 (環境基本計画・環境配慮行動計画・環境審議会)	05-01-02	814	0	推進	推進	「環境区民」の手による環境先進都市づくりを進めることが重要である。
環境推進(区役所環境配慮率 先行動計画)	05-01-03	473	265	継続	継続	区役所が率先して環境負荷軽減の取り組みを行うことは、環境意識の普及啓発に有効である。
学校での環境学習推進	05-01-04	8,423	6,878	推進	推進	次の世代を担う子ども達の環境意識を育むことは、持続可能な社会づくりにとって重要である。
地球温暖化・ヒートアイランド 対策率先事業	05-01-06	1,242	5,567	継続	推進	地球温暖化対策は、全地球的課題であるほか、ヒートアイランド対策は、都市部において喫緊に対応すべき課題である。
環境交通政策の推進	05-01-07	4,285	5,987	重点的に推進	重点的に推進	「環境交通」の推進は、CO2削減に有効であるばかりでなく、区民の健康づくりや街の賑わいを創出する観点からも有効である。
(仮称)エコセンターの開設	05-01-08	123,361	207,483	重点的に推進	休止・完了	区民・事業者・区が協働して環境対策を推進するための拠点となる施設として設置を行った。
荒川・隅田川沿川自治体との 交流事業 (H19は区制75周年記念事業)	05-01-09	955	558	重点的に推進	継続	区制施行75周年をきっかけに、はじめた事業で、ふるさとの川・隅田川を軸に沿川自治体が連携し、環境問題を考えることは大切なことである。
低炭素地域づくりの推進	05-01-15	0	0	—	重点的に推進	低炭素型の地域社会の構築を目指して、数値目標を設定した低炭素地域づくり計画を策定する必要がある。
環境配慮道路整備費 (遮熱性舗装)	10-02-17	22,050	12,285	推進	推進	区役所の率先行動にも位置づけられるほか、ヒートアイランド対策としても有効である。
自転車通行環境整備費	10-02-28	0	0	—	重点的に推進	歩行者・自転車の安全を確保するために、自転車通行環境を整備する必要がある。
小学校校庭の芝生化	12-02-07	7,866	5,873	継続	継続	ヒートアイランド対策として有効な校庭の芝生化は、地域の方々と学校が一体となって芝生の維持管理を行っている例もあり、環境意識の啓発にも役立っている。
学校エコ改修事業	12-02-08	393,353	3,602	重点的に推進	休止・完了	事業は平成20年度で終了するが、学校、PTA、地域住民、事業者が一つとなり、全国に先駆けた学校エコ改修モデルとして今後とも発信していく。
合 計		572,185	252,532			